

## 第8回武蔵野市図書館運営委員会選書部会の記録

日時 平成17年11月21日(月) 午後6時30分  
場所 中央図書館 4階会議室  
出席委員 毛利和弘部会長 赤星昌子委員 石田和以委員 山本輝子委員  
村田吉祥寺図書館長 加藤サービス担当係長  
事務局出席職員 河中館長 山中管理係長 森川西部図書館長 春日図書担当係長  
鹿島主事 船崎専門委員

### 議題及び内容

#### 主な協議内容

#### (1) 議題

武蔵野市立図書館の選書について

その他

なお、主な意見等は以下のとおり。

- ・中央図書館については、前回の協議において確認されたように、郷土資料の充実等により、館独自の魅力を打ち出すことが可能と思われるが、分館についても個性化を図る必要があるだろう。
- ・吉祥寺図書館については、スペースの制約上、これ以上蔵書を増やすことは難しいが、商業地にあるという立地を考え、ビジネス支援サービスを行ってはどうか。ビジネス誌やオンラインデータベースの充実であれば、場所もそれほど取らず、地域の商店街を大きくサポートできる。蔵書数だけにこだわらず、インターネットを充分活用すべき。
- ・武蔵境駅前に建設予定の新公共施設については、基本計画では「環境」「芸術」といった点に力が入れている。仮にこの方向で進められるのであれば、環境・芸術に関する資料や、視聴覚資料については、新施設に集中させるという個性化が考えられる。
- ・一般的な蔵書の拡充は中央に任せ、「ビジネスについては吉祥寺」、「環境・芸術については武蔵境駅前の新施設」という棲み分けを将来的に図ることができれば、分館であるにも係わらず中心的な役割を備えた、非常に魅力的な図書館づくりができるだろう。資料を特化させても、吉祥寺と新公共施設については電車を利用した往来が非常に容易であり、利便性は高い。
- ・映像資料は現在ではDVDが中心になってきているが、切り替えは進んでいるか？  
LDで所蔵していた資料については、順次DVDに買い替えている。DVDの貸出については、ビデオテープよりも耐久性の面で劣るという報告があり、また、盤面研磨可能回数も少ないことから、予算の限られている現状では難しい。
- ・郷土資料のAV化の現状はどうか？  
著作権の問題等もあり、ごく限られたものしかない。街並みについては、バブル期以降、定点撮影を行っており、現在整理作業中。手始めに、ホームページで写真を公開してゆくことを考えている。いずれはデータベースとして利用可能なものにしたい。
- ・不明本の対策は依然として急務。現状では年間1万数千冊の本が紛失しているが、これは大きな損失である。一般に、新刊の本も平均3年で絶版となり、一度紛失すると再び入手できなくなる。絶版となった本を提供するのは他でもなく図書館の役割。また、盗難の被害の多くは基本文献であるが、こちらも当然、絶版となれば再購入できない。これでは、基本文献も揃っていない図書館、ということになる。盗難防止システムの効果は絶大。一刻も早く導入してほしい。

次回 平成18年1月30日(月) 午後6時30分から